

# 職業リハ学会通信

NO.152 2017年 12月発行

学会大会

第46回北海道大会への  
ご参加をお待ちしています！  
2018年8月24日(木)～25日(金)、  
札幌の北星学園大学です

大会長 上野 武治(さっぽろひかり福祉会理事長)  
大会実行委員長 八田 達夫(日本医療大学)

## 【大会の趣旨、テーマ、2日間の概要】

北海道での大会は、2007年の第35回大会から11年ぶりになります。この間、わが国の障がい者雇用・就労は障害者制度改革と障害者権利条約の批准もあって、35回大会当時とは大きく変わりました。しかし、「雇用」と「就労」の2本立てで、国際基準から逸脱した差別構造は依然として解消されておらず、わが国の職業リハビリテーションを大きく歪めています。さらに、近年の軍事費の大幅増大と反比例して行われている社会保障費の圧縮は「福祉的就労」の現場を直撃しています。特に、昨今問題化している就労継続支援A型事業所の閉鎖と障害労働者の解雇、所得保障の後退はその象徴的な表れと言えましょう。

このため、46回大会ではテーマを「障がい者雇用・就労の差別解消にむけて～これまでの10年、これからの10年」とし、35回大会のテーマ「障がい者雇用・就労の明日を拓く」を発展させ、今後の解決課題を明確にしたいと考えています。また、このテーマに基づいて基調講演と基調シンポジウムを企画するとともに、従来のように様々な課題別のワークショップや研究発表(口述、ポスター)などを予定しています。2日間の概要は以下の通りです。

24日の1日目は午後の開始で、「基調講演」、「研究発表とワークショップ」、「懇親会」が、25日の2日目は午前「会員総会」、「研究発表とワークショップ」、午後「基調シンポジウム」が企画されています。

1日目午前の学会研修委員会主催「研修基礎講座」は、従来通り、行われます。

## 【大会役員と実行委員会】

これまで幾度かの準備会で上記の大会概要と以下の大会役員を決めました。会長は上野武治(さっぽろひかり福祉会)、実行委員長は八田達夫(日本医療大学)、事務局長はブロック理事・大野由美子(就業・生活応援プラザとねっと)、渉外は運営理事・大川浩子(北海道文教大学)が担当します。

大会実行委員会は道内の学会員と北海道職リハセミナー実行委員メンバー、その他有志で構成されており、1月27日(土)に発足、大会準備を本格化します。

## 【会場への交通】

会場の住所は札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1で、市中心部より新千歳空港寄りの大谷地にあります。空港バスは「地下鉄大谷地駅」で下車し、徒歩数分です。JRでは「新さっぽろ」駅で下車し、地下鉄東西線に乗り替えて2つ目の「大谷地駅」で下車、徒歩数分です。市内中心部からも地下鉄東西線「大谷地駅」の下車です。

**【宿泊先と航空便の確保】**

8月の札幌は観光シーズンの真最中で、宿舎や航空便の確保は困難になります。そのため、早目の確保をお願いします。

実行委員一同、北海道大会への参加を心からお待ちしています。

(文責 上野武治)

第46回学会大会のご案内	1P
2017年度第3回運営理事会報告	2P
委員会報告	4P
ブロック活動報告	4P
新入会員のお知らせ	6P
事務局からのお知らせ	6P